

平成十八年十一月十六日提出  
質問第一六〇号

元外務審議官とミスターXの間の「三つの基本的な原則」に関する質問主意書

提出者 鈴木宗男

元外務審議官とミスターXの間の「三つの基本的な原則」に関する質問主意書

一 朝日新聞社コラムニストの船橋洋一氏の著書「ザ・ペニンシュラ・クエスチョン 朝鮮半島第二次核危機」（朝日新聞社）の二十七〜二十八頁に、

「交渉に当たって、田中はミスターXに『三つの基本的な原則』を示し、それに対する同意を得た上で、協議を進めてきた。

それは、

第一、発言は個人的立場から行い、かつ、発言はいつでも撤回できる。

第二、水面下の交渉で合意したことは必ず公式のプロセスで確認する。

第三、すべての面で秘密を守る。

の三点である。」

という記述があることを外務省は承知しているか。

二 一で書かれた「三つの基本的な原則」にもとづいて田中均氏が北朝鮮のミスターXと交渉したというのは事実か。

三 田中均氏とミスターXとの交渉について、外務省に記録が保管されているか。

四 一の「三つの基本的な原則」で対北朝鮮外交を進めたことは我が国の国益に照らし、適切であったか。

右質問する。